

《社団法人 柏市サッカー協会設立趣意書》

私たちは、昭和 45 年に柏市蹴球協会を結成し、任意団体として柏市内のサッカー競技の普及・発展のための活動を行うとともに、サッカーを通じて地域への貢献と柏市の体育行政への協力、市民体位の向上を目指すべく、その一翼を担ってまいりました。

ご存知のように、サッカーは世界の人々に最も多く親しまれているスポーツであり、4年に一度開催される FIFA ワールドカップは、オリンピックをしのぐほどの人気があります。

2002年6月に日韓両国で開催された、21世紀最初の、そしてアジアで最初の FIFA ワールドカップが、サッカーの魅力を日本国内のみならず、世界中に知らしめることが出来たことは記憶に新しいところであります。

また、平成3年に発足、同5年にスタートしたJリーグは、世界の関係者からも大変注目を集めて17年が経過し、経済状況に左右されやすい企業スポーツの枠を超え、発展を続けようとしております。柏市サッカー協会にも、柏レイソルが所属し好成績をおさめ、地域とのつながりを深めながら、地域貢献をしていることは、ご承知のことと存じます。

こうした中、サッカーの果たす役割は益々重要であり、サッカーが本当に市民に溶け込んだスポーツとなり、そして、多くの人々に愛されるスポーツとするための普及活動は、我々の使命と考えております。また、財団法人柏市体育協会加盟団体の一員として、幅広くスポーツの発展を望み、市民に夢と希望をもたらし、共に栄えるスポーツの一つでありたいと考えるものであります。

しかし、任意団体の一つに過ぎない、現柏市サッカー協会の組織では、全てが会長を中心とする個人の責任となり、大きな事業に組織的な責任体制をもって臨むことが困難になってきております。そこで、しっかりとした組織体制を確立し、将来

への期待に応えるためには法的にも人格を有する法人としての権利・能力を保持することが急務であると考えられます。

柏市サッカー協会を社団法人に組織変更することにより、①自主独立の公的な人格を持った団体として民主的な運営と発展が保証されること②財政を明確化し、税法上の義務及び恩典を行使しながら計画的な事業が可能になること③柏市民にスポーツ文化の享受が可能となることが挙げられ、その結果、柏市民のサッカー協会に対する信頼感が高まり、さらに多くの柏市民参加が期待されます。

そこで私たちは、自らの経験と現在まで培ってきた事業の手法を広く展開し、我が市において、サッカーの普及、指導を進めながら競技力の向上を図るとともに、老若男女を問わず、すべての人々が、いつでも、どこでも、「スポーツを楽しむ」、そして、「見て楽しむスポーツ」を実現するための環境づくりに寄与し、もって柏市のスポーツ文化の向上を図るため、任意団体である柏市サッカー協会の組織、財政基盤、事業を充実し、ここに社団法人柏市サッカー協会を設立しようとするものであります。

平成23年1月15日

社団法人柏市サッカー協会設立準備室

設立代表者氏名 永尾 鎮機